



翁島小学校だより

第17号 H30. 12. 7 発行

文責：校長 星 善樹

◎ 第17回「母から子への手紙コンテスト」表彰式

～ 記念講演「鶴と亀の生き方」を聴いて ～

12月1日(日)、「第17回母から子への手紙コンテストの表彰式」が町の体験交流館「学びいな」で行われました。今年は、全国から1,382点もの応募があったそうです。その中から大賞1点、準大賞1点、日本郵便賞1点、優秀賞6点、佳作40点が選ばれました。また、今年は、野口博士の母シカさんが亡くなって100年になるということで野口シカ賞が新たに創設され、1点が選ばれました。参観者には、上位10作品のコピーが配布されました。どの作品も母親の子への愛情が綴られたもので読んでいると思わず涙がでました。



玄侑宗久先生の講演「鶴と亀の生き方」

表彰式が終わると、審査委員である芥川賞作家、玄侑宗久先生の記念公演がありました。「鶴と亀の生き方」と題された講演は、1時間に満たないものでしたが、考えさせられる内容でした。日本でおめでたいものとされる「鶴と亀」、しかし、鶴と亀は、まったく違う生き物であり、日本にはこうしたまったく違うものを結び付け、新たなものを作り出す文化が遠い昔からあるというのです。諺もそうです。「急がば回れ」と言ひ、「善は急げ」とも言ひます。「梅檀(せんたん)は双葉より芳し」と言ひ、「大器晩成」とも言ひます。相反する教えが普通に混在して、日本人は、状況に応じて使い分けているというのです。聖徳太子の有名な言葉とされているものに「和をもって貴しとなす」があります。学生時代に習った時には、「みんな仲良くすることが大切だ」という単純な意味としてとらえていましたが、本当の意味は、「異なる意見や考えがあることは当然。それらを拒絶するのではなく、十分に話し合うことで新たな良い物が生まれてくる。」という意味だそうです。

これから子ども達が成長して行く中で、様々な価値観をもった人々に出会うことと思います。自分の考えや意見だけに固執しては、対立が生まれるだけです。日本人が古くから持ってきた寛容さ、柔軟さを大切に、相手を思いやり十分話し合っていく姿勢を育てていくことが大切だと感じながら講演を聞きました。

おめでとう!!

- 第51回県児童作文コンクール
佳作 1年 S.K さん 4年 Y.C さん
- 平成30年度非行防止地域安全ポスターコンクール
佳作 1年 K.N さん
- 第32回県小学校児童画展
特賞 4年 I.T さん



◎人権のお話(全校集会)

…11月26日(月)、全校集会の時間に町の人権擁護委員の皆さんが来校され、人権についてのお話をしてくださいました。野口英世博士は子どもの頃、左手の火傷をからかわれてつらい思いをしたこと、そのつらさを作文に書いたところ級友や先生がお金を出し合って手術を受けることができたというお話を聞きました。そして、野口博士のように、つらいことがあったら一人で悩まないで、周りの大人に相談しようというお話がありました。誰もが人権を尊重され、幸せに生きられる世の中であってほしいとお話を聞いて思いました。人権擁護委員の皆さんは子ども達が一生懸命話を聞いてくれてとても嬉しかったと話されていました。人権擁護委員のみなさん、ありがとうございました。



◎ 子どものSNSの使用について ～ネットには危険がいっぱい(警察庁)より～

SNSの使用により子どもが様々な事件に巻き込まれることが全国的に増加しています。県内でもSNSに「家出したい」と書き込んだ郡山の少女(13)が10月、東京の男に誘拐される事件が発生しました。SNSをきっかけとして誘拐や略取の犯罪被害に遭った子どもは昨年度全国で21人に及びました。「ネットで知り合った人とは、会わない」は、鉄則です。こうした事態を受けて「福島県青少年健全育成条例」が一部改正され、平成31年4月1日より施行されます。主な改正内容は、以下の2点です。

○ 児童ポルノなどの提供を求める行為の禁止

青少年に対し、以下の方法で当該少年に関する児童ポルノなどの提供を求めた場合、30万円以下の罰金が科せられます。

- ・青少年に拒まれたにも関わらず求める行為
- ・青少年を脅かしたり、だましたり、困惑させたりする行為
- ・青少年に対し、対償(お金や物など)を供与し、またはその供与を約束する行為

○ インターネット利用環境の整備(青少年を有害情報から守るための措置)

携帯電話の新規契約または機種変更などをする場合、以下の対応が義務化されます。

- ・携帯電話会社等は、青少年または保護者に対し、有害情報を閲覧するおそれ、フィルタリングの必要性・内容等を説明した上、説明書を交付する。
- ・携帯電話会社等が提供するフィルタリングサービスなどを希望しない保護者は、携帯電話会社等に対し理由書を提出する。
- ・携帯電話会社等は、上記理由書またはその写し等を保存する。



被害に遭わないためにできる事(保護者のみなさんへ)

- 必ずフィルタリングを！…年齢や利用に応じたフィルタリングを必ず設定する。
- 家庭でのルール作りを！…ルールの例は、「内閣府 ネットルール普及啓発リーフレット」で検索すると閲覧できます。
- 犯罪の手口を知る！…「警察庁 児童ネット犯罪被害防止動画」で検索すると、動画が閲覧できます。